

あなたとまちの未来を支える建設業情報誌



# ひとまち・ふくおか

HITO MACHI FUKUOKA

29

2017  
SUMMER

注目建築!

## マリンワールド海の中道 ミクニワールドスタジアム北九州 [北九州スタジアム]

クチコミ情報・気になるGoods NOW  
誇り高き獅子たち 半田建設株式会社  
合同新入社員研修

高校生の現場見学会 浮羽工業高等学校  
学び舎訪問 真嶺館高等学校  
協会NEWS ほか



### 高校生ものづくりコンテスト優勝! 創立80年、脈々と続く「ものづくり魂」

真嶺館高等学校 建築科



福岡県から建築科の山本先生、佐野先生、立川先生、前列左側は、昨年の「第18回 高校生ものづくりコンテスト福岡県大会」家具工芸部門でイゼムを制作し、最優秀賞、九州大会にも出場した向井さん、右側が今年のコンテストにチャレンジする島野さん。

昭和11年、小倉市砂津の地に九州工学校として誕生した真嶺館高校。建築科は昭和35年に4番目の学科として設置されました。現在では8学科に加え、514人の生徒が学んでいます。80年間「ものづくり」にこだわり続けた学校の魂は、今を学ぶ生徒たちの胸に深くしみこんでいます。

現在、ひとまち活躍しているのは「なぜなぜ屋」とニックネームがついた女子のペア。建築科の山本先生は、「わからないことを徹底的に質問してくるところが素晴らしい」と話してくれました。2人は、男子生徒の多い生徒会でも中心人物として活躍中。その果敢にチャレンジしている姿は、周りの男子生徒をけん引しリーダーシップを発揮しています。建築科の生徒のほとんどが大工技能士3級を取得し卒業。生徒同士も仲が良く、アットホームななかにも厳しく面倒見のいい先生方のもとで、将来の夢をしっかりと見つけていました。



取材時に今年の卒業生が撮影。彼らが3年次に作った「内角堂」は、島野さん(建築科生徒)の「学んだ知識を学校に還元したかった」という思いが形になったもの。写真は、島野利定から、島野謙平さん、島野謙伸さん、島野謙亮さん、前担任の梅崎先生、渡崎時夫さん、河原源さん、2期生、宮内大輝さん、向井さん、島野さん、山口智成さん、3期生、佐野先生、山本先生。

#### この子の夢



インフラに携わって入学しましたが、この時はどうしようもない不安感がありました。でも、ここにはいろいろな知識や技術が蓄積されており、夢を見つけるところが満載です。大学へ進学後は建築士になります。



視野が広がったけれど、建築は本当に楽しいと思っていました。授業は、手を動かしながらものづくりを通して、学校内コンペで優勝したことで、自分のスキルが伸びています。



人工が流る輪廻。農村の暮らしを学ぶ、生徒から話し、経験し、ケタなど組み合わせ、クイズをばらばらでやる。

真嶺館高等学校  
真嶺館高等学校ウェブサイト

真嶺館高等学校 〒803-0837 北九州府小倉北区中津口5-1 TEL.093-661-1231 <http://www.shinryokan.ac.jp/>

一般社団法人 福岡県建設業協会 〒812-0018 福岡市博多区博多駅前3-14-18 TEL.092-477-6731 <http://www.fukuokakyo.jp/>

